

ふ あ ぼ ラ ボ

笠原 菜緒 八木 知夏 森下 なみ 山口 泰聖 ふぁぼメンバー



Educational Challenge 2022 中間報告

「好き」

ふぁぼラボ とは

から 居場所 を作る

研究所。

プロジェクト概要

哲学対話

3
つ
の
中
核
活
動

ふぁぼ地図

各自の好きによる活動

哲学対話

大学生メンバーを含めて参加者みんなが 「話す」場 をつくる。

テーマは様々に 決めて、考えることで新しい発見を。

哲学対話を通して コミュニケーションが自然と生まれる。

ふぁぼ地図

長野市内にある様々な居場所（を作っている場所）を
地図上にマッピングしていく



様々な場所との横のつながりが広がることで
活動範囲も広がり、1人1人の“つながり”も

各自の好きによる活動

「ふあぼラボの木」の活動などを通して見えてきた

“好きなこと”

“やってみたいこと”

“気になること”

を具現化

絵

木工作品

音楽

料理

おしゃべり

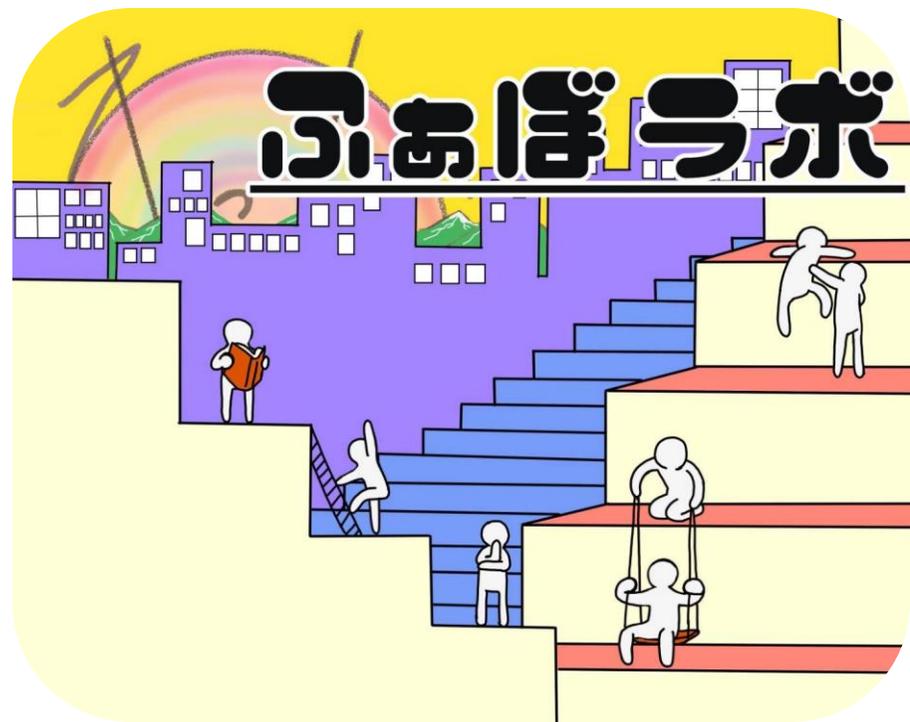
活動報告（9月～10月）

参加者

高校生～20歳の6名

開催回数

2回（9月・10月）



第1回 9/25 @長野市もんぜんぷら座

自己紹介

初回として、全員で自己紹介を行った。

哲学対話

「自分らしさ」を哲学のテーマとして対話をした。
自分の特徴や好きなことを手がかりに対話が広がっていた。

ふぁぼラボの木

それぞれの興味ややりたいことをブレストして、書き出した。
たくさんのジャンルを超えた好きが出てきていた。

アンケート

雑談タイム

第2回 10/16 @信州大学教育キャンパス

自己紹介

新メンバーを含め、簡単に自己紹介を行った。

哲学対話

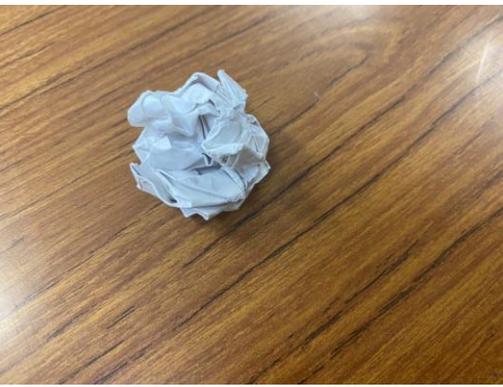
「アート（芸術）」を哲学のテーマとして対話をした。丸をつくるアクティビティを軸に対話が広がっていた。

ふぁぼラボの木

第1回に続いて、それぞれの興味/やりたいことをブレストして、書き出した。グルーピングもできてきて、具体的な活動が出てきつつある。

アンケート

雑談タイム



哲学対話

アイスブレイクの一環として実施



哲学対話に興味を持った参加者が多く、楽しいという感想も多々



継続的に行っていく活動として確立



ふぁぼ地図

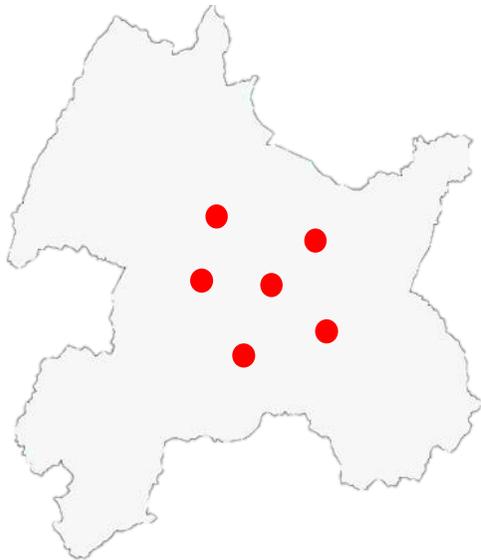
ふぁぼラボに参加してくれている人たちの中には
他の居場所づくりの所へ参加している人も多い



団体の横のつながりも薄く、互いに協力できない地域課題

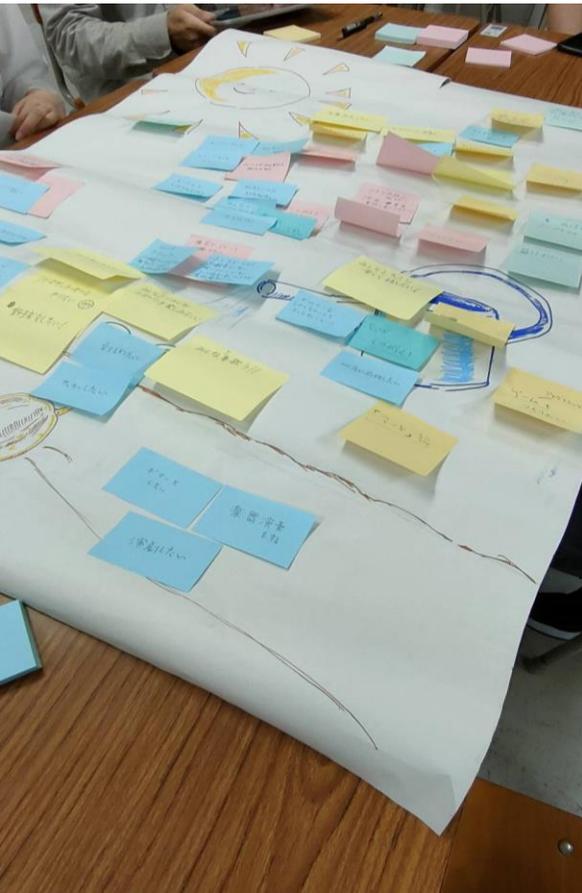


様々な場所を知ったり、
出合いを広げてみたいモチベーションに



各自の好きによる活動

「ふあぼラボの木」



各自で、自分のやりたいこと/好きなことを書き出す



似たような興味や好きを見つけたり、
一緒に盛り上がるテーマの発見になった



いくつか、ふあぼラボでやりたいことのリストアップにつながった

アンケートからの言葉（抜粋）

時間の早さに驚いた。

哲学の話を聞くのも楽しかったし、それについてグループで話しするのも楽しかった

長野市にある他の団体とのつながりを実現することは楽しそう

やりがいがあって面白そうだった

もっと居場所を知りたかった

思考もアートだと思った。

ふぁぼラボ 第2回 アンケート

1. 参加してみて楽しかったですか？（当てはまるところに丸をつけてください）

楽しくなかった |-----| 楽しかった

2. たくさんお話しができましたか？（当てはまるところに丸をつけてください）

できなかった |-----| できた

3. 日曜日の開催は参加しやすいですか？（当てはまるところに丸をつけてください）

参加しにくい |-----| 参加しやすい

4. チラシやSNSの情報発信は分かりやすかったですか？

分かりにくかった |-----| 分かりやすかった

ふぁぼラボ 第2回 アンケート

1. 参加してみて楽しかったですか？（当てはまるところに丸をつけてください）

楽しくなかった |-----| 楽しかった

2. たくさんお話しができましたか？（当てはまるところに丸をつけてください）

できなかった |-----| できた

3. 日曜日の開催は参加しやすいですか？（当てはまるところに丸をつけてください）

参加しにくい |-----| 参加しやすい

4. チラシやSNSの情報発信は分かりやすかったですか？

分かりにくかった |-----| 分かりやすかった

今後の予定

中核活動の拡大

- ① ふあぼ地図の制作
- ② 哲学対話のワークショップ
- ③ 各自の好きによる活動

その他

- 寺小屋（またあいこ）との連携
- 参加者の広がり

中核活動の目的と目標

哲学対話



ふぁぼラボ内でのコミュニケーションのきっかけや
新しい“好き”に気付く手がかりになるように

ふぁぼ地図



団体を超えた横のつながりができることで、
好きをサポートしてくれる方の出会いや活動の
幅を広げていけるように

各自の好きによる活動



“自分の好き”を軸にして
誰かと関わって、つながる経験が
できるように

次回の開催予定

第3回 2022.11.26 @本願寺別所院

ふぁぼ地図の作成スタート

哲学対話

線・面・立体で遊ぼう（参加者の好きによる活動）

その他

「寺小屋（またあいこ）との連携」

昨年度から居場所づくりを行っている団体と協力することで
活動場所の拡大や活動内容の広がりを目指す

※あくまで連携であって、企画や参加者の募集等はふぁぼラボ単独で行い、
場所の一部をお借りしたり、寺小屋の参加者とともにふぁぼラボ参加者の好きに
よる活動を行ったりできることが目的

その他

「参加者の**広がり**」

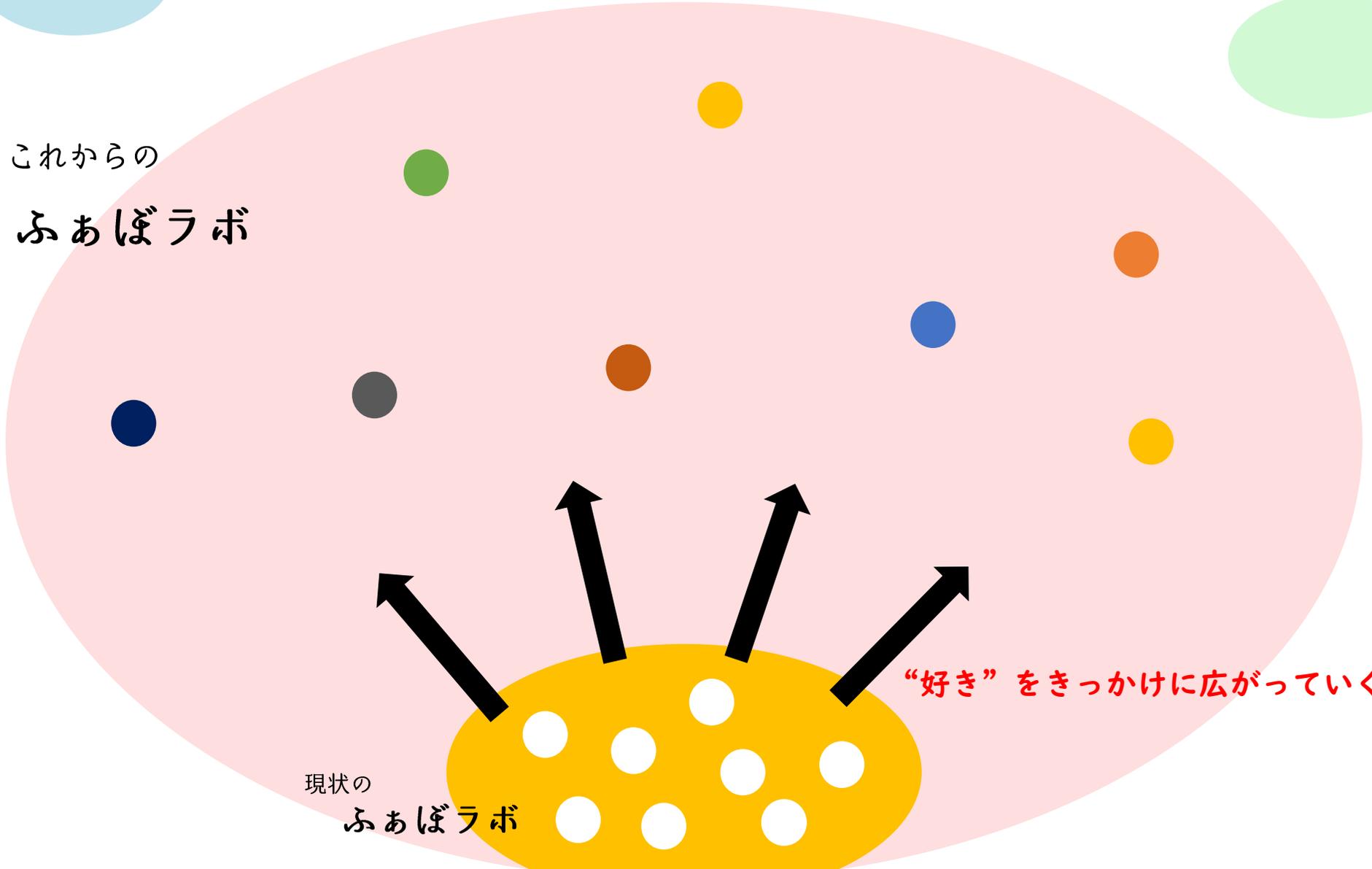
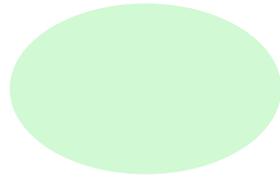
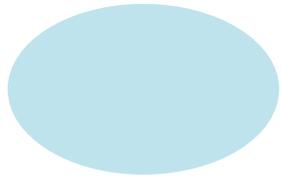
今後は、大学生側のメンバー増加や高校へのチラシ配布をより強化していく

今後のあり方イメージ

これからの
ふあぼラボ

現状の
ふあぼラボ

“好き”をきっかけに広がっていく



今後のあり方のイメージ

これからの活動は、参加者1人1人の好きに沿って展開



全員が“同じこと”を“同じようにする”ことは少なくなる

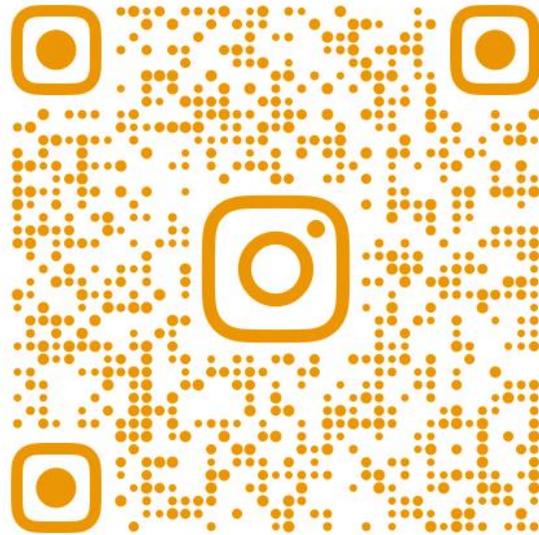
でも、

常に“ふぁぼラボ”が居場所（拠点）であり、

そこに来る人たちと好きを共有し合い、

コミュニケーションをしながら活動が広がっていくことを目指す。

参考 (Instagram)



WAKKA_SHINSHU